

No.
44

卒後に学ぶ金属床パーシャルデンチャー ー良い設計と失敗する設計ー

補綴

日時：平成28年7月3日(日)9：30～17：00

講師：東京医科歯科大学医歯学総合研究科

部分床義歯補綴学分野

若林 則幸 教授

ホームページ申込み

ハガキ申込み

会費 ¥48,000

定員 20名

当日徴収実習関連費 ¥20,000

- 事前にDVDを送付し、部分床義歯について予習していただきます
- その素材を元におこなう、フリップトクラスルーム（反転授業）による新しいタイプの実習コースです
- オーダーメイド医療を望む患者さんからの、あっと驚く様々な要望に慌てずに応えるための実例が学べます
- 設計に悩む患者さんの症例をひとつ持参していただければ、その部分床義歯設計について、インストラクターが直接指導します



「最良のパーシャルデンチャーは何だろう？」
本コースは「旧義歯の問題点を医療面接」で見つけ、「部分床義歯の必要条件」を解説し、「義歯の作り方に何を加えれば良いのか？」を理解し、「気持ちよく装着できる義歯による患者満足度の向上」を考察するコースです。

研修項目

1. 残存歯の診断に基づくパーシャルデンチャーの設計
 - ・症例診断、模型上で設計、講師が実例を紹介し、最良の設計を検討
 - ・サベイングについて動画で説明

- ・前処置の形成（ガイドプレーン、レストシート、歯冠形態修正）
2. 患者さんが満足するプラスアルファ
 - ・ここをこうすると格段に向上する
 - ・教科書に載っている「義歯の作り方」に加えるもの
 3. 知って得する治療のオプション
 - ・治療用義歯の活かし方、使い方
 - ・ノンメタルクラスプ、軟質裏装材、磁性アタッチメント
 4. 義歯装着後のトラブルと解決法